



2026年7月30日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
15,127万kW
14時、151,271 MW (10
エリア同時刻合計)

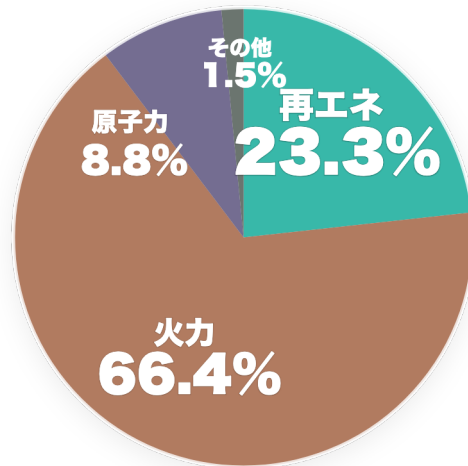
≈ 風力ピーク
161万kW
0時30分、1,614 MW

↔ 最大受電エリア
東京
126 GWh

☀ 太陽光ピーク
4,818万kW
12時、48,177 MW (自
家消費分除く)

◇ 再エネ最大需要
比
41.6%
12時、需要に対する割合

↔ 最大送電エリア
東北
109 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 38.7%
31.8 GWh

揚水・蓄電の充電

43.1 GWh
発電構成比には含めない

出力抑制量

0.0 GWh
最大: 北海道 0.0 GWh

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、15:30に5,162万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで38.7%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	23.3%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	679 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,918 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	41.6%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	43.1 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	38.7%	31.8	0.0	送電 8.0
東北	31.4%	105	0.0	送電 109
東京	17.5%	150	0.0	受電 126
中部	26.6%	102	0.0	受電 61.2
北陸	31.7%	29.3	0.0	送電 5.5
関西	15.5%	72.2	0.0	受電 42.9
中国	28.4%	55.8	0.0	受電 0.3
四国	24.4%	32.3	0.0	送電 43.1
九州	28.4%	97.1	0.0	送電 43.6
沖縄	9.2%	2.9	0.0	—



2026年7月30日の供給実績

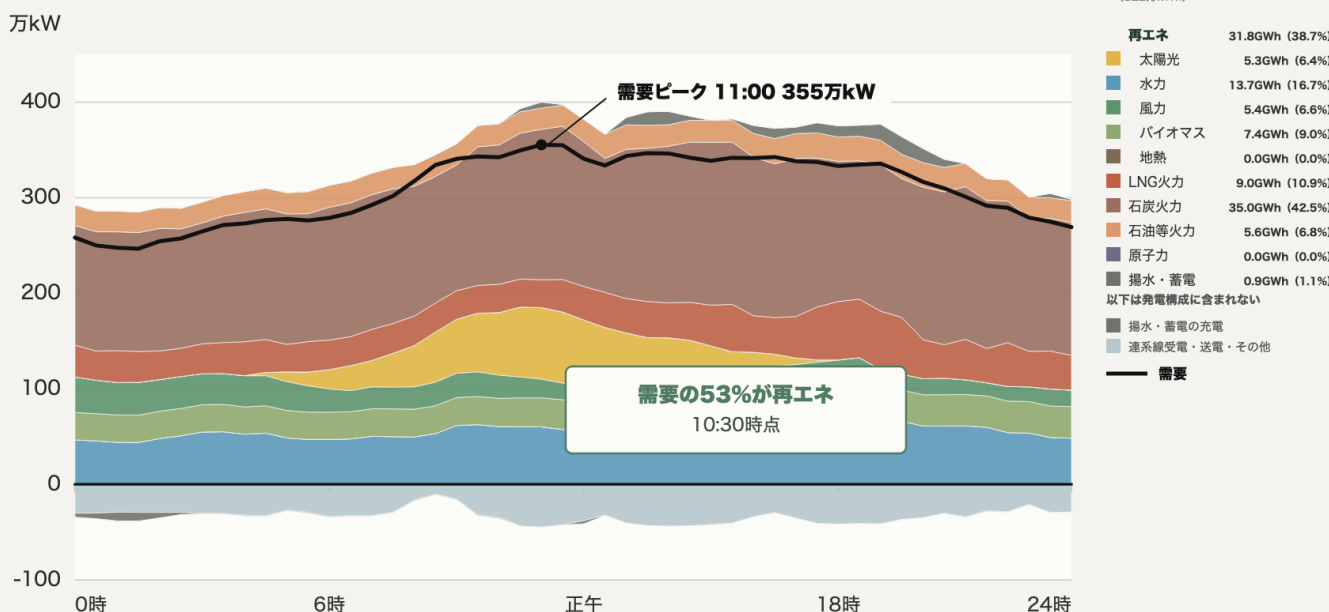
北海道エリア

再エネ

31.8GWh

(発電電力量ベース38.7%)

北海道エリア 2026年7月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

82.2GWh

需要ピーク

11:00、355万kW

連系線・その他

8.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク75万kW、風力ピーク37万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.1%だった。



2026年7月30日の供給実績

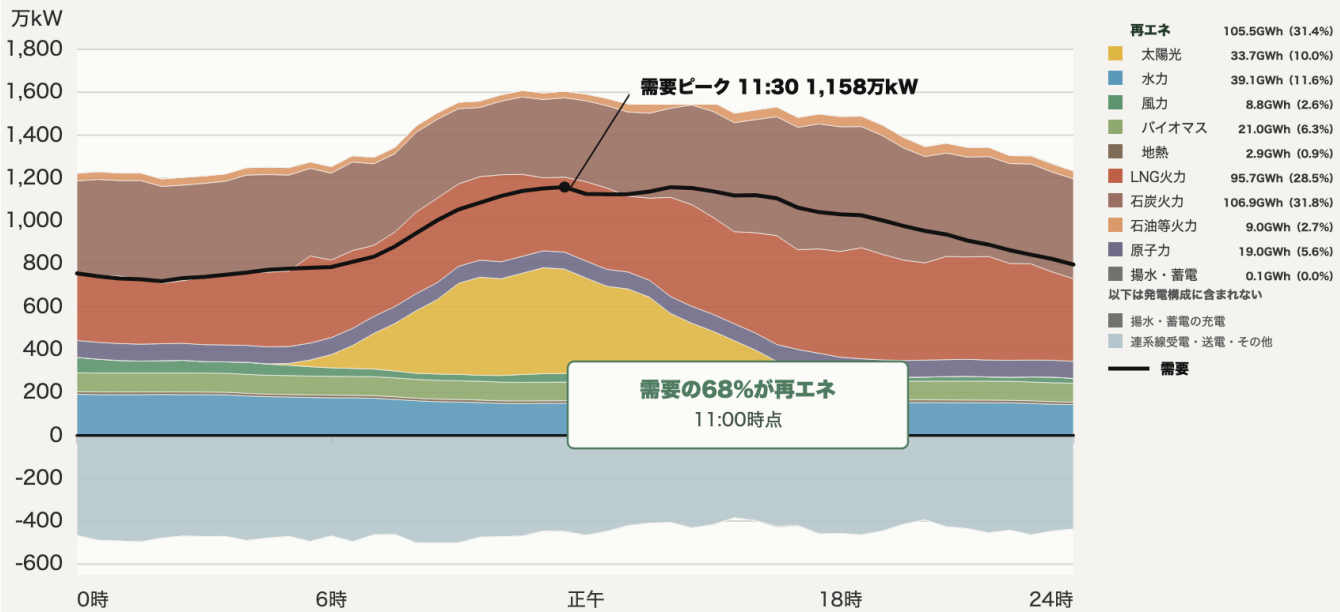
東北エリア

再エネ

105.5GWh

(発電電力量ベース31.4%)

東北エリア 2026年7月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

336.1GWh

需要ピーク

11:30、1,158万kW

連系線・その他

109.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク494万kW、風力ピーク72万kWで、時間別の再エネ最大需要比は68.0%だった。



2026年7月30日の供給実績

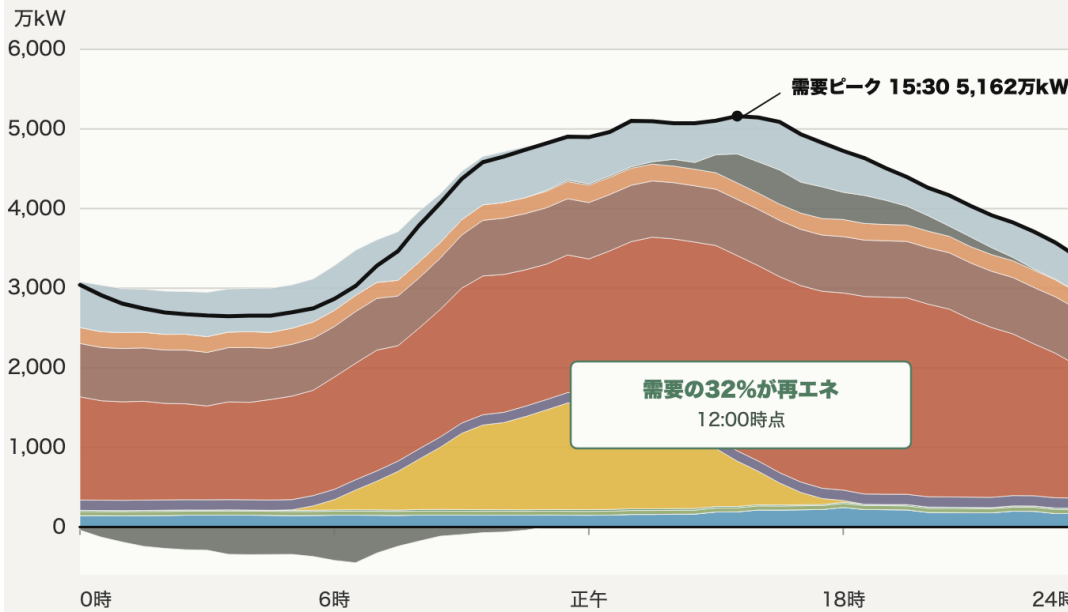
東京エリア

再エネ

149.7GWh

(発電電力量ベース17.5%)

東京エリア 2026年7月30日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 855.3GWh
(8,553万kWh)

再エネ	149.7GWh (17.5%)
太陽光	93.2GWh (10.9%)
水力	40.5GWh (4.7%)
風力	4.1GWh (0.5%)
バイオマス	12.0GWh (1.4%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	438.7GWh (51.3%)
石炭火力	165.0GWh (19.3%)
石油等火力	49.2GWh (5.8%)
原子力	31.1GWh (3.6%)
揚水・蓄電	21.6GWh (2.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

855.3GWh

需要ピーク

15:30、5,162万kW

連系線・その他

126.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

25.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,350万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は32.0%だった。



2026年7月30日の供給実績

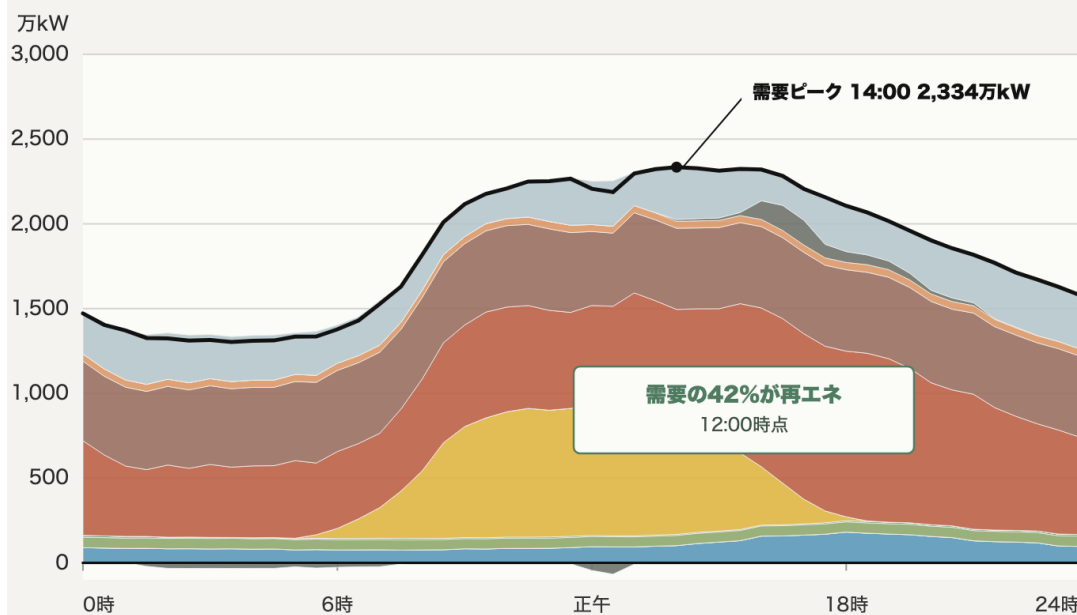
中部エリア

再エネ

102.0GWh

(発電電力量ベース26.6%)

中部エリア 2026年7月30日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 384GWh
(3,839万kW)

再エネ	102.0GWh (26.6%)
太陽光	59.9GWh (15.6%)
水力	25.8GWh (6.7%)
風力	1.7GWh (0.4%)
バイオマス	14.5GWh (3.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	154.0GWh (40.1%)
石炭火力	113.5GWh (29.6%)
石油等火力	10.2GWh (2.7%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	4.1GWh (1.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量
383.9GWh

需要ピーク
14:00、2,334万kW

連系線・その他
61.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電
2.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク771万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は42.3%だった。



2026年7月30日の供給実績

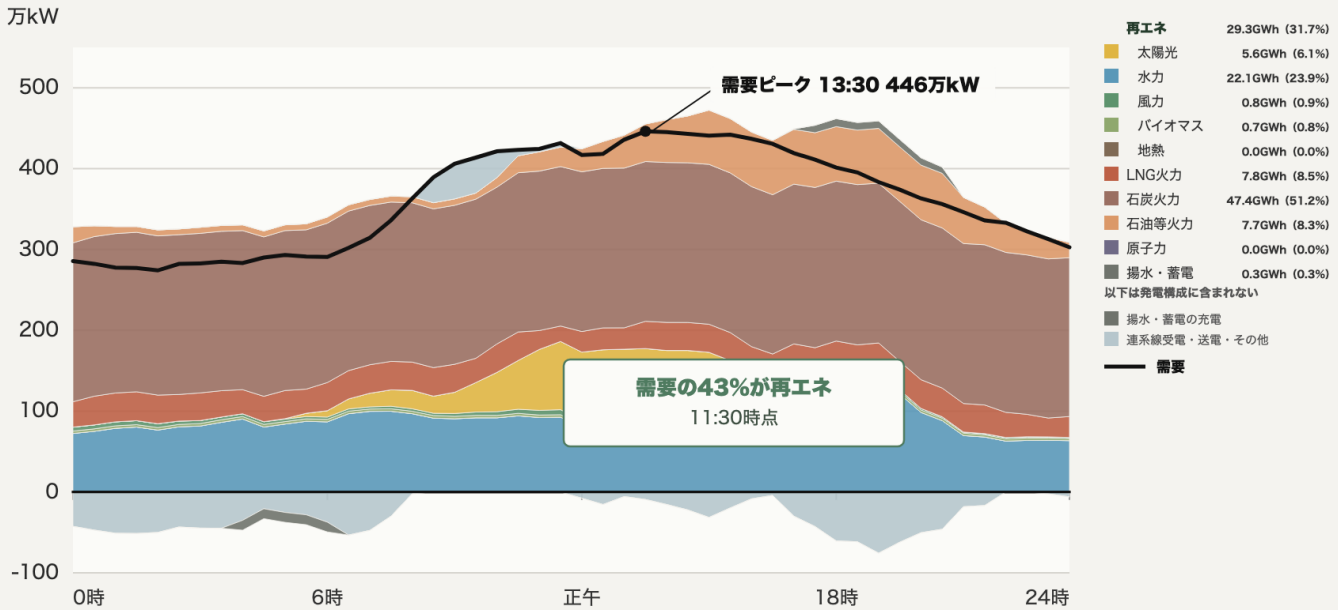
北陸エリア

再エネ

29.3GWh

(発電電力量ベース31.7%)

北陸エリア 2026年7月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

92.5GWh

需要ピーク

13:30、446万kW

連系線・その他

6.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク85万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.2%だった。



2026年7月30日の供給実績

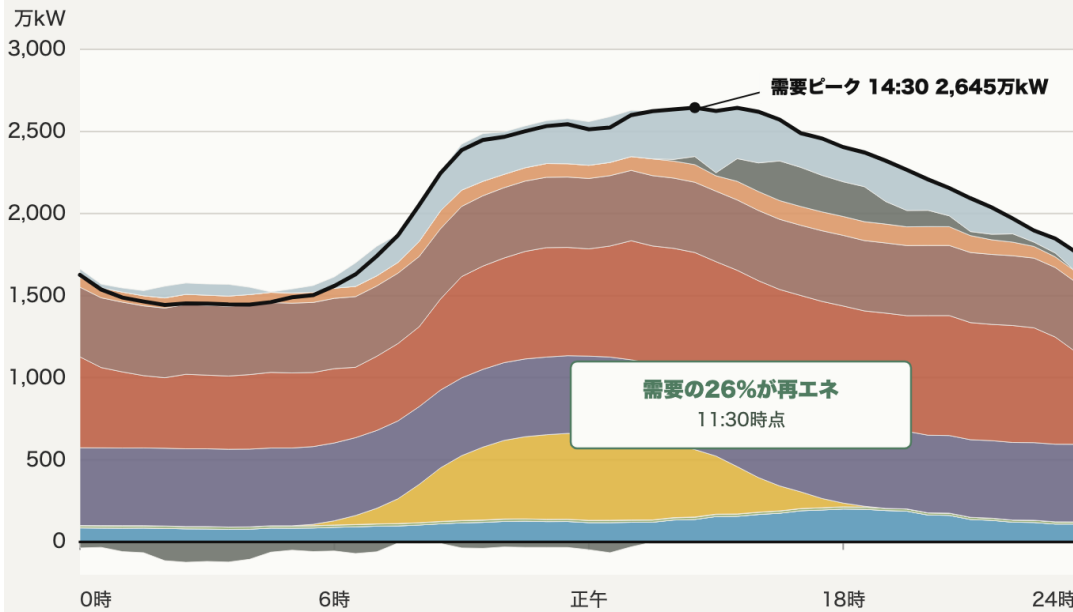
関西エリア

再エネ

72.2GWh

(発電電力量ベース15.5%)

関西エリア 2026年7月30日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 465GWh

(4,650万kWh)

再エネ	72.2GWh (15.5%)
太陽光	39.1GWh (8.4%)
水力	29.7GWh (6.4%)
風力	0.2GWh (0.1%)
バイオマス	3.1GWh (0.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	145.9GWh (31.4%)
石炭火力	102.5GWh (22.0%)
石油等火力	20.5GWh (4.4%)
原子力	113.5GWh (24.4%)
揚水・蓄電	10.4GWh (2.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

465.0GWh

需要ピーク

14:30、2,645万kW

連系線・その他

42.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

7.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク527万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は26.2%だった。



2026年7月30日の供給実績

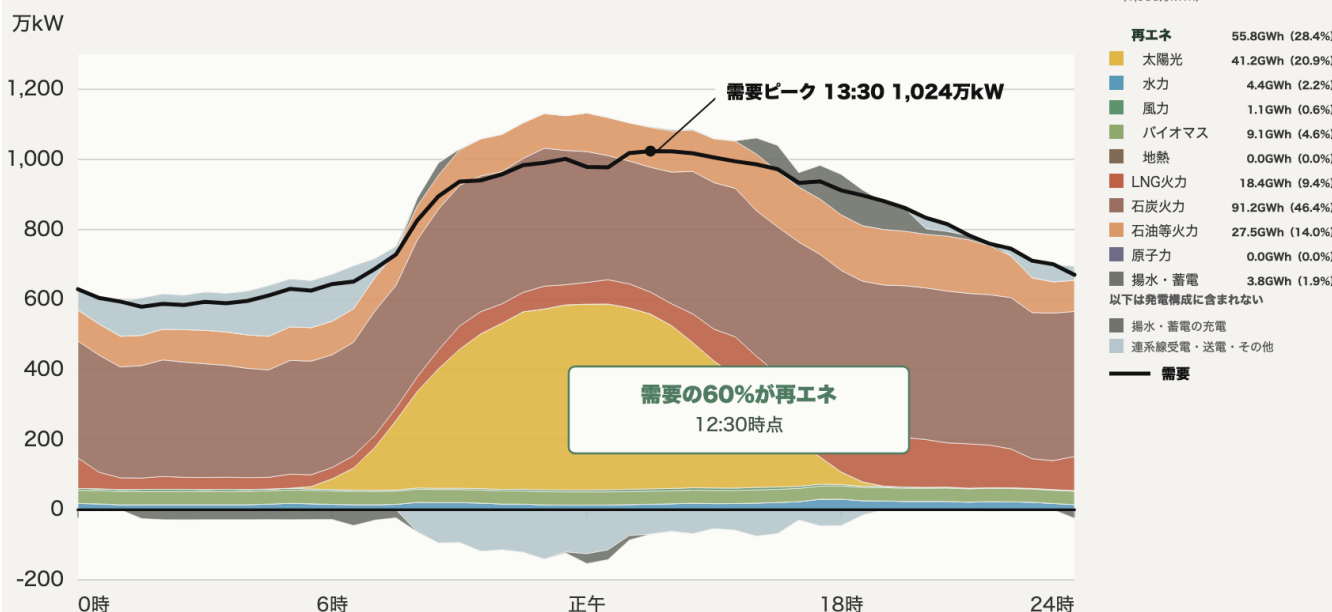
中国エリア

再エネ

55.8GWh

(発電電力量ベース28.4%)

中国エリア 2026年7月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

196.6GWh

需要ピーク

13:30、1,024万kW

連系線・その他

9.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

2.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク530万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.1%だった。



2026年7月30日の供給実績

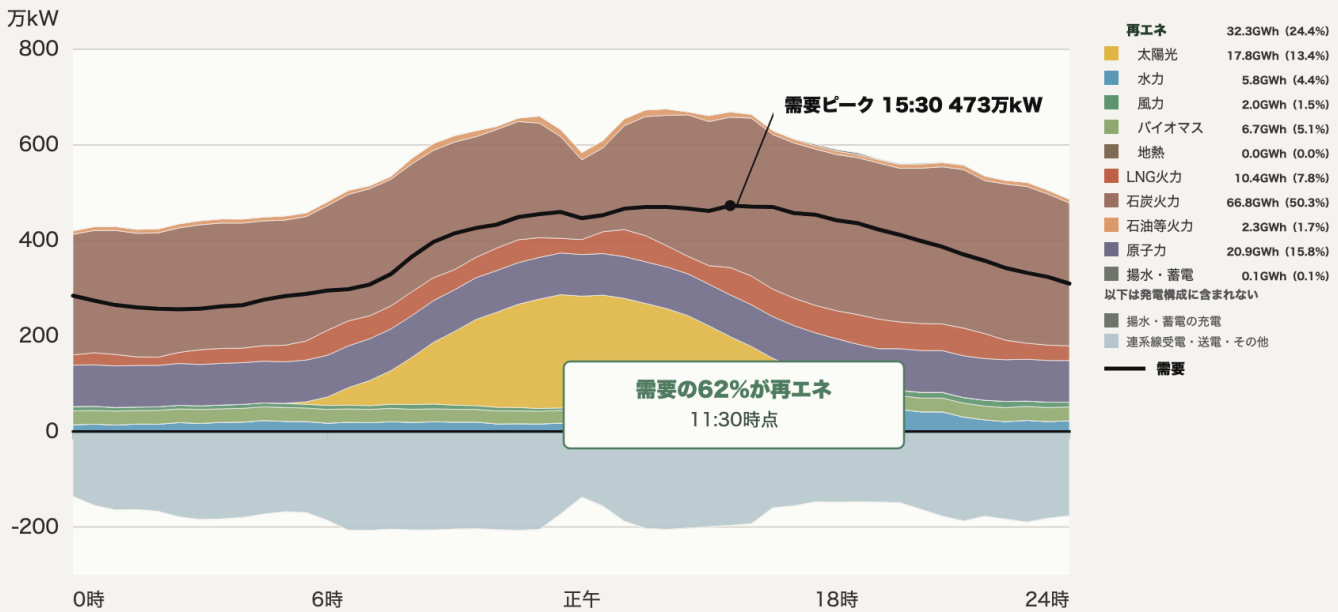
四国エリア

再エネ

32.4GWh

(発電電力量ベース24.4%)

四国エリア 2026年7月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

132.8GWh

需要ピーク

15:30、473万kW

連系線・その他

43.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク238万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は63.5%だった。



2026年7月30日の供給実績

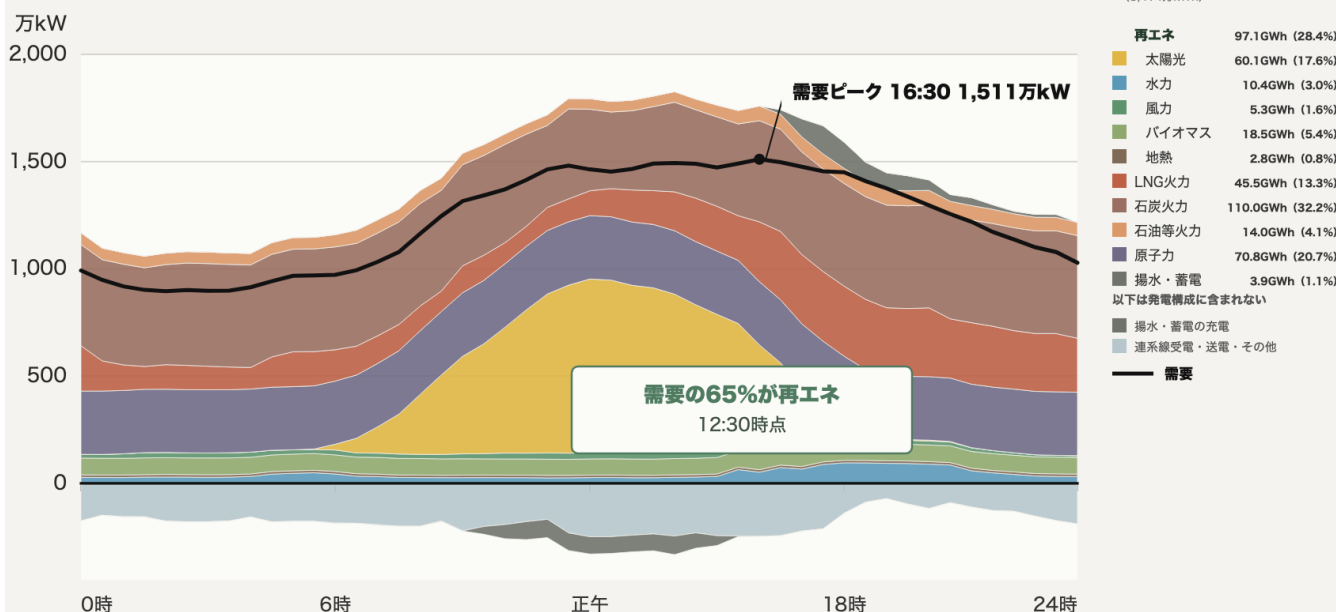
九州エリア

再エネ

97.1GWh

(発電電力量ベース28.4%)

九州エリア 2026年7月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

341.4GWh

需要ピーク

16:30、1,511万kW

連系線・その他

43.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

4.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク811万kW、風力ピーク30万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.2%だった。



2026年7月30日の供給実績

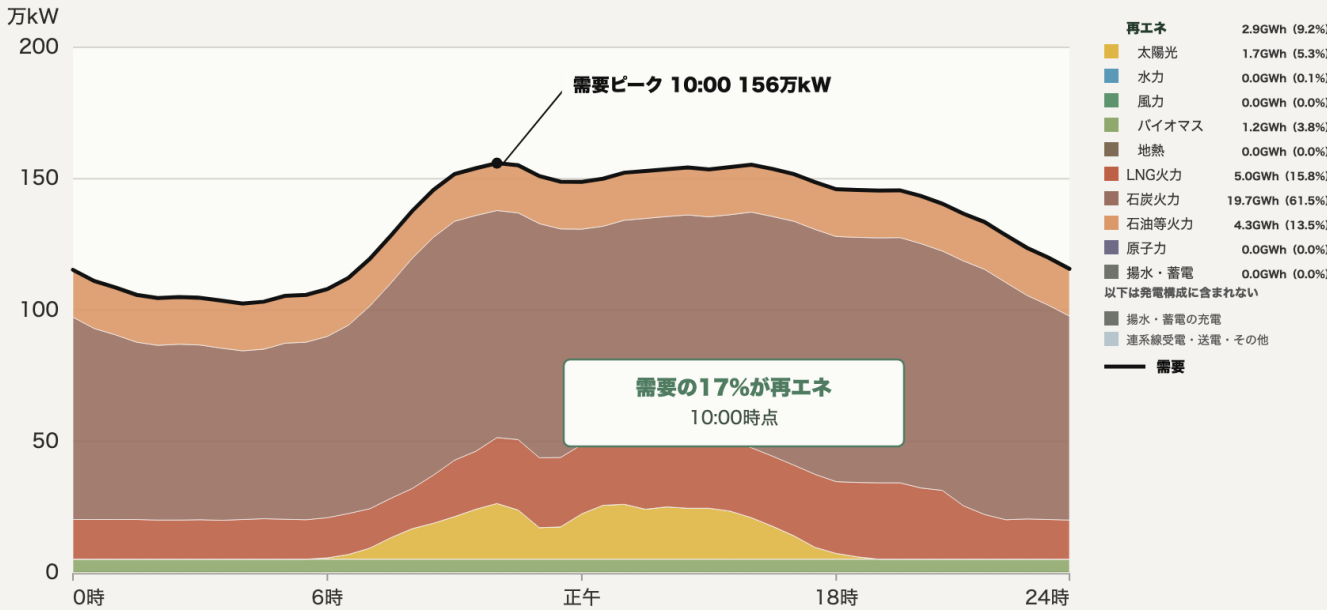
沖縄エリア

再エネ

2.9GWh

(発電電力量ベース9.2%)

沖縄エリア 2026年7月30日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

32.0GWh

需要ピーク

10:00、156万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク21万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は17.1%だった。